

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調査

都道府県名	鳥取県	事業実施主体	鳥取県、八頭町	地域再生計画名	人と自然が共存する森づくり計画
計画期間	平成27年度～平成31年度	評価責任者	鳥取県東部農林事務所八頭事務所長、八頭町建設課長		

	指標	基準値		中間目標値			最終目標値			達成状況		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
		基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績	指標 総数	達成 数					
①地域再生計画に記載した 数値目標の実現状況	指標 1	森林施業面積の増加	33ha	H25	36ha	H29	17.6ha	40ha	H31	43.8ha	4	4	○	林道整備と併せて林業専用道及び森林作業道の整備を行ったことにより森林整備が進み、目標値を達成できた。
	指標 2	アクセス時間の短縮	38分	H25	38分	H29	33分	24分	H31	21分			○	道路整備を行ったことにより、アクセス時間が17分程度の短縮が図られた。
	指標 3	ふるさとの森利用者数	7,500人 ／年	H25	8,000人 ／年	H29	15,601 人 ／年	8,500人 ／年	H31	21,047 人 ／年			○	町道の整備による効果により、ふるさとの森から扇ノ山に登山に訪れる人が増加し、最終目標より2倍を超える来園者があった。
	指標 4	危険箇所の解消	2箇所	H25	1箇所	H29	1箇所	0箇所	H31	0箇所			○	危険箇所の解消については、事業進捗を早める必要があったため、単独事業を併用して対応した。
②地域再生計画に記載した 数値目標以外の波及効果の 実現状況	指標 1													
	指標 2													
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価								
			計画	中間年度 (H29)	最終実績									
特別措置を適用して行 う事業	町道整備事業（整備延長）	1.00 km	0.42 km	1.13 km	今回の整備等により、ふるさとの森利用者の増加に繋がったと考えている。									
	林道整備事業（整備延長）	1.35 km	0.92 km	1.20 km	最終目標値1.35kmに対して、実績1.20kmと概ね目標値は達成できた。今後も森林整備の促進のため路網整備を推進して行きたい。									
その他の事業	森林整備地域活動支援事業	森林経営計画作成に係る活動や対象森林への作業路網の改良に対し支援			森林経営計画作成の推進を図り、一体的な森林の維持管理等に引き続き努めていきたい。									
	森林環境保全整備事業	撤出間伐等の森林施業及び森林作業道の整備に対し支援			撤出間伐等や作業道の整備については、増加傾向にあり、引き続き施業の推進に努めていきたい。									
	国道29号周辺地域振興事業	有害鳥獣肉の活用策としてジビエの特産品化を推進			捕獲されたイノシシ及びシカは、若桜町と共同運営している解体処理施設(わかさ29工房)に搬入し、ジビエ肉として首都圏のレストラン等に販売しており、県産のジビエ肉として知名度が向上している。									
計画外で独自に実施した事業														
④評価方法	鳥取県森林審議会において、最終目標値の実現状況に関する評価・検討等を実施。													
⑤事後評価の公表方法	鳥取県及び八頭町建設課のホームページに掲載													
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画では、道整備推進交付金を活用した町道整備と林道整備を一体的に実施し、町道では安全な走行ができるよう未舗装区間の舗装や道路修繕を行い、林道では開設工事を行った。森林区域へのアクセスを改善することで、伐採から搬出までの経費が削減されるとともに林業労働力不足を補う林業機械化が図られ、豊富な森林資源を有効活用するための効率的な木材生産が今後とも期待される。また、ふるさとの森へのアクセスが改善され、一般車両が安全に通行でき、さらなる利用者の増加が今後とも見込まれる。													
⑦今後の方針等	引き続き本計画に沿って、森林資源の持続的な有効活用とふるさとの森等への誘客、さらには地域の活性化に繋がるよう事業を推進していきたい。また、更なる目標値の増加を図るため、森林施業の実施に向けた森林経営計画の作成、実行等を推進していきたい。													